

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	なごみ福祉会 ここから 児童発達支援		
○保護者評価実施期間	2024年12月 日		2025年1月 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2024年12月 日		2025年1月 日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月 日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもたちも期待を持って通所してくれ、保護者の皆様にはある程度の理解をいただいている。支援の成果については個人差が大きいですが、こちらが研鑽することの一つだと思っている。	環境によって子供の姿も異なることから、「ここから」の事業所での姿に留まることなく、保育園や幼稚園、療育先などと情報共有をして、子の理解を深めている。専門的な研修を受けたり、関係機関に相談して、支援に活かしている。	効率化が図れるところでは合理的に、支援に手をかけられるようにしていきたい。
2			
3			

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	緊急時の具体的な対応の周知不足がある。	契約や訓練を実施するときの利用者には伝えていますが、災害意識の高まりから、日頃からの周知が必要に感じた。	評価を機に、お知らせするとともに、事業所内の目につくところに掲示するなど工夫が必要。
2	他の園や障がいのないお友達の交流について、周知不足や認識の違いがある。	公園へ遊びに行くこと自体、あまりにも当たり前すぎてそうは思えないのかもしれない。	社会の交通ルールを学んだり、時に順番であったり、、身近にある社会資源を活用しながら、地域に生きるものとして、「ここから」にとどまらず、子どもたちの世界を広げていきます。
3			